

取 扱 説 明 書

C a t c h M e S e r i e s

RD-212 RD-223 RD-208

APPLAUSE SYSTEMS Co.

RD-212

特長

- ・ ミキサーのポケットに入るサイズになり、音声出力を再送信することが容易に。
- ・ LED 表示により、グループ・チャンネル切替が容易で、使用チャンネルを目で確認できる。
- ・ ON AIR Key で誤発射を防止。

近年、ENG での音声送り返しシステムの需要が高まり、それに呼応して、小型軽量、簡便さにも考慮し、単三 1 本で長時間運用可能な、現場対応の送信機です。

◆RD-212

●機能

- ・UP④ 送信周波数の切り替え。G1-CH1→CH2…G4-CH1→G1-CH1。
- ・ON AIR⑧ ON AIR Key を押すと、選択した周波数を送信する。
- ・LOCK⑪ LOCK Key を ON すると全ての Key のコントロールが利かなくなる。

●使用方法

- 1) ①電池ボックスをスライドさせ、アルカリ単三電池を+電極を手前に装てんする
- 2) ②電源スイッチ 長押しすると③電源ランプが点灯
- 3) ④UP⑤DOWN にてグループ、チャンネル切り替えをする。
- 4) ⑥グループ 1～4 その後、⑦ チャンネル 1～4
- 5) 任意のグループ、チャンネルが決まったら⑧ON AIR 長押し
- 6) ⑨ ON AIR ランプが点灯すると電波が発射する。
ON AIR 中は UP DOWN スイッチが反応しない。
- 7) ⑩ボリューム +4～-20dB まで入力レベルの音量調整が可能 (LINE 入力のみ)
- 8) ⑪LOCK トグルスイッチをONすると操作パネルの操作ができなくなり誤作動を防止できる
- 9) ⑫ I N 音声入力。

入力ケーブルは専用ケーブル (平衡ミニステレオ⇄キャノン メス) を使用する。

**注意：RD-203・RD-213・RD-223 からのファンタム電源送りをしないで下さい。
機器を壊す恐れがあります。**

●アンテナ

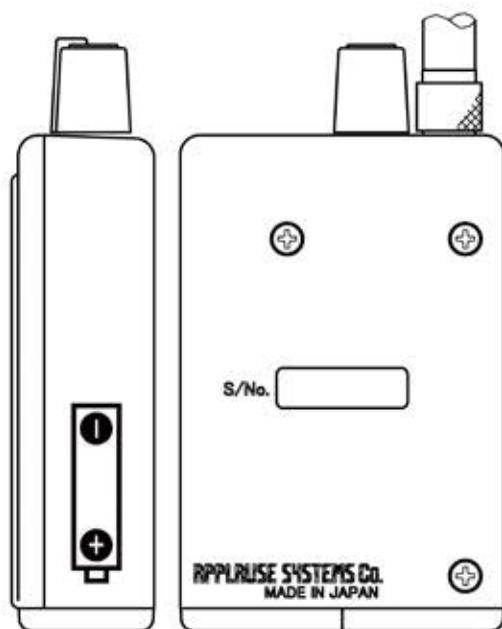
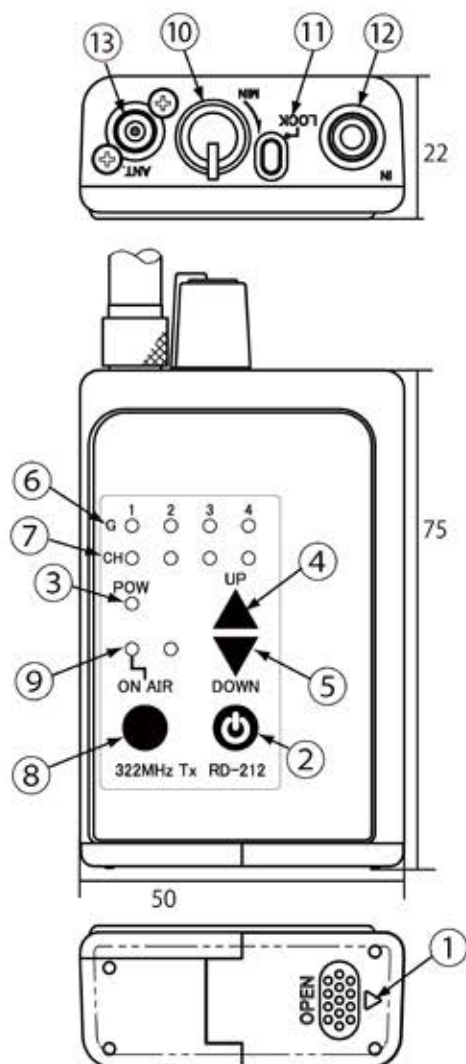
- ⑬ANT. アンテナは技術基準により取り外しは出来ません。

グループ・チャンネル表

グループ	チャンネル	周波数・MHz
1	1	322. 050
	2	322. 100
	3	322. 250
	4	322. 350
2	1	322. 075
	2	322. 125
	3	322. 275
	4	322. 375
3	1	322. 025
	2	322. 150
	3	322. 325
	4	322. 400
4	1	322. 300

●各部の名称と機能

- ①バッテリーボックス開閉蓋
- ②電源スイッチ
- ③POW LED
- ④UP△: グループ・チャンネル表示 1→4
- ⑤DOWN▽: グループ・チャンネル表示 4→1
- ⑥グループ表示 1～4 (表-1 参照)
- ⑦チャンネル表示 1～4 (表-1 参照)
- ⑧ON AIR 長押し
- ⑨ON AIR ランプ
- ⑩MIN: イヤホン調整ボリューム
- ⑪LOCK: 誤作動防止
- ⑫IN: 入力コネクタ (ステレオ)
- ⑬ANT. : アンテナ



◆RD-223

RD-223 は送り返しワイヤレス送信機 RD-207・RD-209・RD-211・RD-212 と受信機 RD-208・RD-210 をサポートする中継基地として、簡単なミックスが行える2チャンネルミキサーです。

屋外中継等にあたっては、N-1（Nマイナス1）等オーディオレベルの定まっている信号が送られてくる場合がありますが、LINE から MIC まで、あらゆるレベルに対応できる入力 HA を装備し、音量の微調整を行える監視装置として、メインミキサーの補助的な役割を果たします。

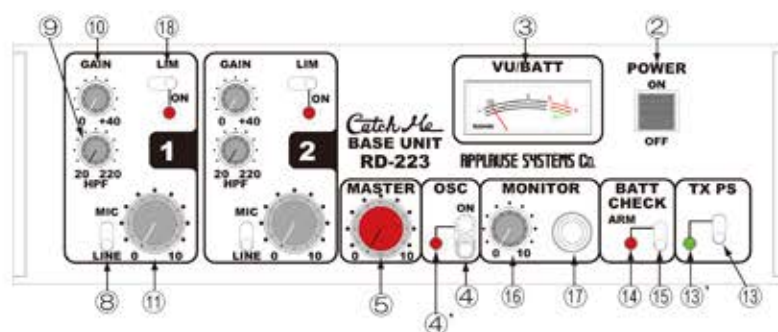
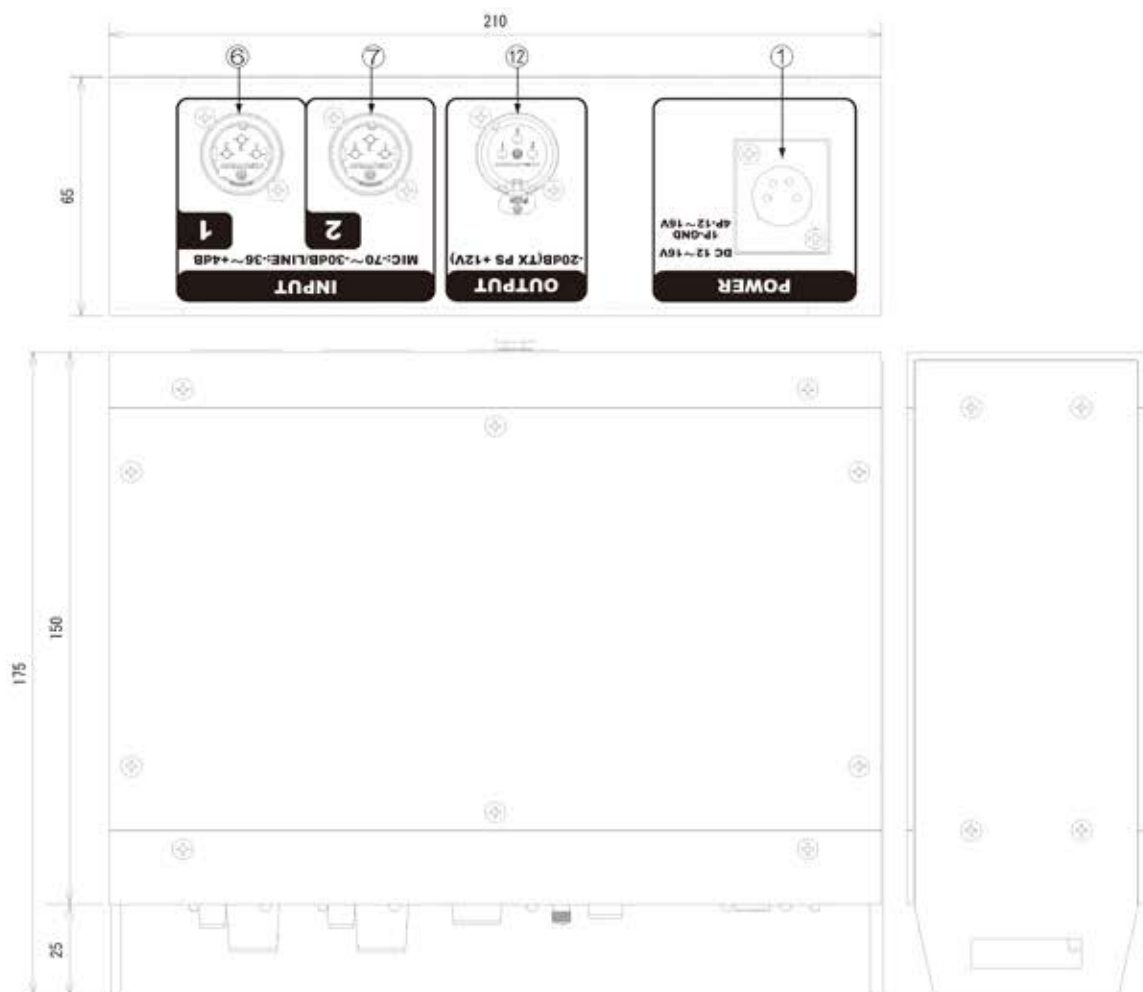
主に音声調整卓からのミキシングソースとトークバックの調整に使用されます。

（ファンタム電源機能は送信機RD-207・RD-209・RD-211のみ対応 RD-212は非対応）

※注意 RD-212 にファンタム電源送りをしないで下さい。 機器を壊す恐れがあります。

●使用方法

- 1) 電源は①DC 12V(1P-GND, 4p-12 ~ 16V) を使用します。②パワースイッチをONすると③VU計窓が点灯します。
- 2) ④OSC(基準信号)の扱い方
送受信機の検聴をする際、④OSC(1KHz) スイッチを引きながら上にあげると④' LED が点灯し、1 KHz 信号が発信します。⑤マスターボリュームにて「0」VU に合わせます。
- 3) 音声入力⑥、⑦の2つがあります。
音声入力はマイクレベルからラインレベルまで対応できます。⑧MIC では-70 ~ -30dB、LINE では、-36 ~ +4dB の入力を受けられます。いずれも HA GAIN で適切なレベルに調整してください。
- 4) ⑨HPF(ハイパスフィルター)は、風が強い時や吹かれが気になる時に、また音質合わせに使用します。MAX で 220Hz、MIN で 20Hz の周波数を示します。
- 5) 入力ボリュームの調整はあらかじめ ⑩HA GAIN で入力レベルを設定して、⑪入力ボリュームで、微調を行ってください。
- 6) ⑫音声出力は-20dB で出力されます。(トランス出力)
- 7) ⑬TXPS(送信機へのファンタムスイッチ)をONすると⑬' TXPS のLED が点灯し、送信機へ音声を重畳して電源供給(12V 出力)していることを示します。
ファンタム電源を送らない場合は OFF にしてください。
- 8) ⑭ARM(バッテリーアラーム)は電源電圧 11.0V 以下になると LED が点滅しますので早めに交換をお願いします。
- 9) ⑮BATT CHECK(バッテリーチェッカー)を下に倒すと VU 計に残量が表示されます。
- 10) ⑯モニターボリュームは⑰ヘッドホンの音量を調整するツマミです。
適量で使用してください。
- 11) 各チャンネルに⑱リミッターを設けてあります。過大入力予想される場合、また、声の大きさが極端に異なる場合、必要チャンネルだけリミッターを ON してください。
スレッショールドレベルは+3dB にセットしてあります。



●各部の名称と機能

- | | | |
|---------------|-------------|-------------|
| ①DC-12V ~ 16V | ⑧MIC | ⑮BATT CHECK |
| ②パワースイッチ | ⑨HPF | ⑯モニターボリューム |
| ③VU 計 | ⑩HA GINE | ⑰ヘッドホン |
| ④OSC | ⑪入力ボリューム | ⑱リミッター |
| ④' OSC LED | ⑫音声出力 | |
| ⑤マスターボリューム | ⑬TXPS | |
| ⑥音声入力 1 | ⑬' TXPS LED | |
| ⑦音声入力 2 | ⑭APM | |

◆RD-208

ABS樹脂性のボディは、従来の受信機（RD-202）に比べ軽量・コンパクトにまとめられさらに使いやすくなるため、使用チャンネルの設定がワンクリックで済むように設計されています。

●機能

- ・POWER、UP/DOWN、A・SCANスイッチはタクトスイッチを使用し、容易に且つ安全に操作可能です。
- ・オートスキャン機能…本機はチャンネルスキャンをマニュアル又はオートマチックに行うことができバンド間のチャンネル切替が素早く行える高機能を備えています。

●使用方法

1)電源

- ①電池蓋を矢印の方向にスライドして開ける。
- ②バッテリーBOXにアルカリ単三乾電池×1本を、マイナス極を先端にして入れ蓋を閉める。バッテリーBOX内のバネがある方がマイナスです。

2)パワースイッチ

- ③POWER（電源スイッチ）を1秒以上長押しすると④POWER LED（赤色）が点灯する。ラストチャンネルメモリーのG、CHのLEDが点灯。1秒以上長押しするとOFFする。

使用電池の状況により、POWER LEDは下記のように推移します。

十分な電源電圧がある場合→点灯

電池交換時期→遅い点滅

直ぐに利用停止→早い点滅

※なるべく早めの電池交換、また、定期的にアルコールによる電池端子のクリーニングをお勧めします。

3)3つのモード

MANUALmode SCAN UP/DOWN mode AUTO mode

3-1.MANUALmode

- ⑩UPまたは⑪DOWNキーを軽く押すとマニュアルで⑧G(グループ)・CH(チャンネル)を設定することができる。

G・CH表示…UP/DOWNを操作して任意のG・CHにセットすると、LEDが点灯する。

※G・CHが決定したら、⑮LOCK Keyを入れておくと誤作動を防止できる。

3-2.SCAN UP/DOWN mode

UPキーまたはDOWNキーのいずれかを長押し(0.5秒以上)することにより、SCANを開始。発射されている電波を自動でキャッチするとTUNE LEDが点灯し、SCANを停止する。

※LED表示…G・CH、TUNEのLEDは常時点灯する。

3-3.AUTOMode(GOLFmode)

POWERを入れ⑤A・SCANキーを長押し(1秒以上)すると、⑥AUTOが点灯しSCANが開始される。電波を自動でキャッチするとTUNE LEDが点灯し、SCANを停止する。

「その後、電波の強さが弱くなると」、次の電波を自動的にSCANする。

ゴルフ場などの送信エリアをまたぐ際に利用できる。

なお、AUTO modeのSCANは全SCANなので、注意が必要です。

※通常はMANUALmode、またはSCAN UP/DOWN modeを必ずご利用ください。

4)TUNE

使用環境の中で、使用中の周波数は⑦TUNE LEDが点灯する。

5)LOCK（誤作動防止）

- ⑮LOCKスイッチを倒すと、チャンネルが固定し、すべてのキー（Key）は動かなくなる

●イヤホン出力

- ⑫イヤホン出力は0.1mW（適合インピーダンス8Ω～32Ω）です。

インピーダンスが適合しないと適正レベルが得られない場合があります。又、レベルアップの為にボリュームを上げ過ぎると、音割れや、電池を早く消耗する要因となります。

●アンテナ

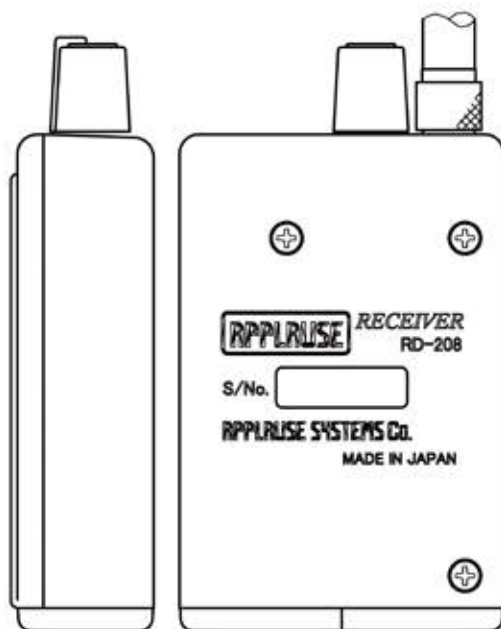
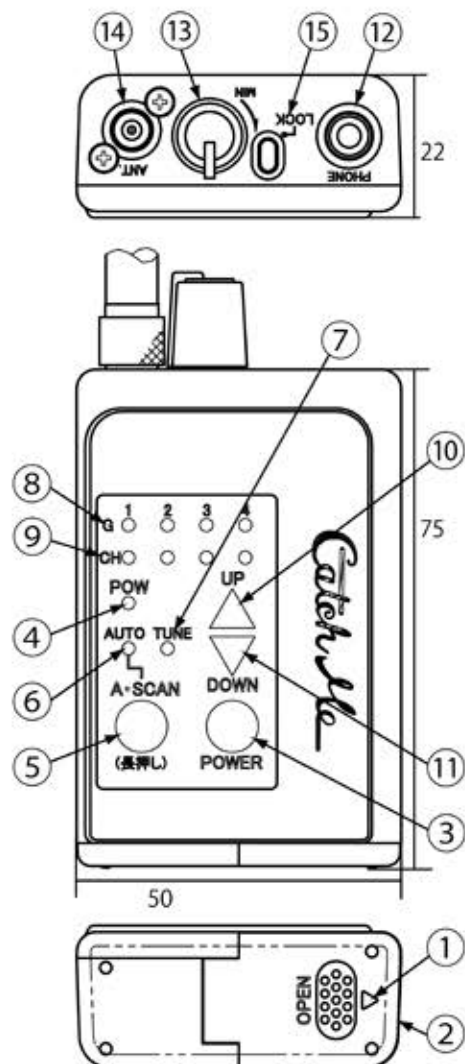
- ⑬アンテナはλ/4ヘリカルアンテナを標準にしています。コネクタはSMA（50Ω）です。322MHz帯に適應するものであれば交換は可能ですが、純正品をお勧め致します。

グループ・チャンネル表

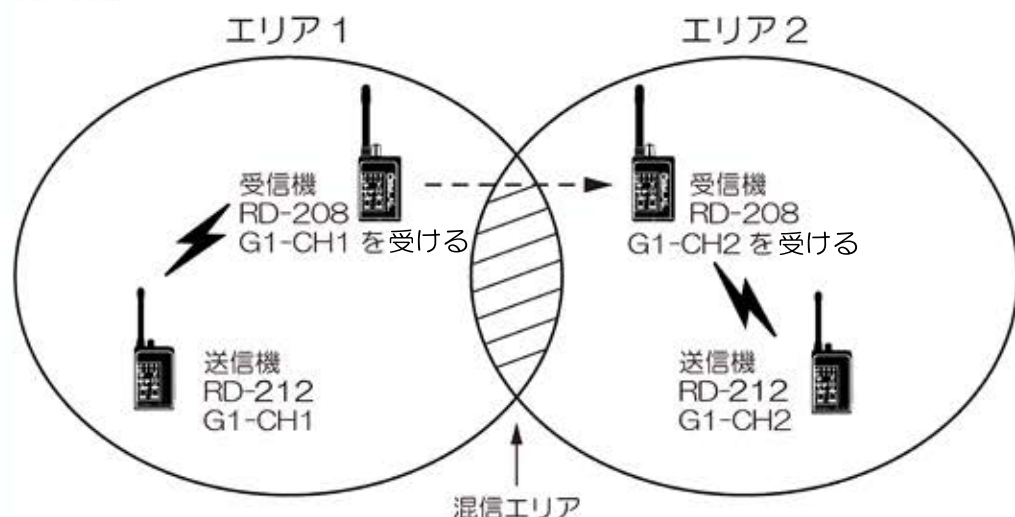
グループ	チャンネル	周波数・MHz
1	1	322.050
	2	322.100
	3	322.250
	4	322.350
2	1	322.075
	2	322.125
	3	322.275
	4	322.375
3	1	322.025
	2	322.150
	3	322.325
	4	322.400
4	1	322.300

●各部の名称と機能

- ①バッテリーボックス開閉蓋
- ②バッテリー（アルカリ単Ⅲ電池 × 1 本使用）
- ③POWER（電源スイッチ）
- ④POWER LED
- ⑤A・SCAN切替スイッチ
（オートスキャン / マニュアルスキャン）
- ⑥AUTO LED：オートスキャン
- ⑦TUNE LED：受信状態
- ⑧グループ表示 1～4（表-1 参照）
- ⑨チャンネル表示 1～4（表-1 参照）
- ⑩UP△：グループ・チャンネル表示 1→4
- ⑪DOWN▽：グループ・チャンネル表示 4→1
- ⑫イヤホンジャック
- ⑬MIN：イヤホン調整ボリューム
- ⑭アンテナ接線：SMA
- ⑮LOCK：誤作動防止



概念図



A・SCANモードの時、G1-CH1 が完全に離調するとCH2 に切り替わる。
上手く切り替わらない時は電源を一度切り、再投入する。

RD-208をAUTO SCANモードに設定

エリア1 …送信機 RD-212 がG1-CH1 (322.050MHz)

エリア2 …送信機 RD-212 がG1-CH2 (322.100MHz) の場合

受信機 RD-208 を持ってエリア1 からエリア2 に移動すると、受信チャンネルが自動的にCH1 からCH2 に切り替わり、混信せず連続して指示を受けることが可能である。

これにより受信エリアの増大がスムーズに行える。

特定小電力 1mW 出力のカバーエリアが通常 50 ~ 100m 位であったものが、送信機へのプログラムの送り込みが可能な範囲であれば、広大なオープンエリア (ゴルフ場等)、遮蔽物のあるセットや建物の内や外等、チャンネルの設定により受令者は連続して通過することが可能になった。

※注意

各々の送信機の距離が離れていて、お互いに干渉する範囲が狭い場合は、(図・斜線部分) 比較的速やかに切り替わるが、距離が近い場合は容易に切り替わらない。

その場合、RD-208 の電源を一度切り、受信したい送信機の近くで、再度電源を投入すると、強い電波の方を受信することができる。

RD-212 の入力レベル切替コマンド説明

2025.9 アブローズシステム株式会社

RD-212 には、入力レベル切替コマンドが設定してあります。

このコマンドは、入力レベルの切り替えと、スレートマイクの使用が可能になります。

「ON AIR」と「上矢印」ボタンを同時に長押しで3つのモードに切り替わります。

切り替えの確認は「ON AIR」ランプの右側のLED ランプで確認します。



・ランプの確認

- +4db ~ -20dB 無点灯 ※マイクロフォンのみではレベルが極端に小さくなります
- 60db グリーンに点灯
- スレートマイク オレンジに点灯 (そのまま RD-212 の内蔵マイクで話せます)

・切り替え方

「ON AIR」ランプが無点灯なのを確認します。

「ON AIR」ボタンと「上矢印」を同時に押します。すると、押すたびに色が変わります。

「無点灯」→「グリーン」→「オレンジ」→「無点灯」 このように、変わっていきます。

決定は ON AIR ボタンを長押しします。

※ご注意

RD-212 にベースユニット RD-213・RD-223 からファンタム電源は供給しないで下さい。故障の原因になります。必ず専用ケーブル（ステレオ平衡）を使用して下さい。

◆RD-212 仕様

空中線電力	1mW
周波数	特定小電力 C型322MHz帯
発振方式	PLL周波数シンセサイザー
コンパンダ	1/2圧縮
バッテリー残量表示	LED点滅
LINE入力コネクタ	STEREOミニ（平衡入力） ※ファンタム電源不可
入力ケーブル	キャノン（3P）→ステレオミニ 専用ケーブル
入力レベル	-20 ~ +4dB
持続時間	8時間以上（アルカリ） 常温25℃において
電源	単Ⅲ（アルカリ）×2本
外形	77mm（H）×50mm（W）×22mm（D）＜アンテナ含まず＞
重量	70g（本体のみ）

◆RD-223仕様

入力レベル	MIC=-70dB~-30dB LINE=-36dB~+4dB
入力インピーダンス	MIC/LINE=600Ω
出力レベル	-20dBm
出力インピーダンス	600Ω
周波数特性	50Hz~15KHz

◆RD-208仕様

周波数	特定小電力 C型322MHz帯
チャンネル数	13チャンネル
コンパンダ	1/2圧縮
電流	1.5V負荷 8Ω 0.1mW出力時
バッテリー残量表示	LED点滅
持続時間	10時間以上（アルカリ） 常温25℃において
スケルチ	内部で設定
電源	単Ⅲ×1本
外形	75mm（H）×50mm（W）×22mm（D）
重量	59g（本体のみ）

※本機・オプションの仕様及び外観は改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

製造元

アプローズシステム 株式会社

〒213-0032

神奈川県川崎市高津区久地2-5-24ビルコンビル4F

Tel:044-330-6782 Fax:044-330-6935

<http://www.applause-sys.co.jp>